



江津市苔プロジェクト  
推進コーディネーター  
小野山 優

## 地域でコケ活！ 〜跡市まちづくり協議会〜

跡市まちづくり協議会は、江津苔生産者の会に所属しています。春と秋に週3回ほど集まり、ごみの除去作業から育苗箱にコケの種を蒔くまでを、それぞれで作業します。作業をしながら談笑する様子は、とても楽しそうでした。

全国的にコケの需要が高まってきたこともあり、県外でコケの栽培を始める企業も増えてきました。生産者の皆さんは「もっといいものを作っていかなくや」という気持ちを持って栽培に取り組もうと思えます」と話します。こうした意識を持って取り組むおかげで、品質の良いコケを生産することができるのですね。

## コミュニティビジネスとしてのコケ栽培

コケ栽培は鳥獣の被害を受けにくく、高齢者でも作業ができます。使道に悩んでいる土地や時間を有効活用し、コケの生産を始めてみませんか。地域交流の場づくりや、得たお金で新たな活動を行うことで地域の活性化を目指しましょう。

「江津市出前講座」では、市内の団体向けに講座の申し込みを受け付けています。ぜひご利用ください。

## コケ栽培の課題

メディアでは「コケ栽培は簡単で儲かるビジネス」と紹介されることがあります。コケが好む環境を整えることができれば、基本的に自然環境だけで育てることができます。しかし実際には水害や強風、イノシシによる被害や品質安定のために栽培方法を改善していく努力が必要になります。過酷な環境に強いコケですが、環境に非常に影響を受けやすい植物でもあるのです。



①



②



③

①跡市まちづくり協議会では、種まき作業を室内で行っています。一人一人机を用意し、作業のしやすい環境を作っています。②作業が終わったら、全員で作業場の片づけを行います。③取材をした日は7人で40枚ほどの苔パレットを作ることができました。ほ場に苔パレットを設置するのは後日。生産しているハイゴケは乾燥にもある程度耐えるので、数日間このまま室内で保管しておくこともできます。